

平成29年度 周陽中学校 コミュニティ・スクール便り



No 3 平成 29 年 9 月 4 日 「周陽中学校コミュニティ・スクール事務局」発行

周陽中学校区小中合同学校運営協議会

8月2日、キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターで行い、遠石小学校・桜木小学校・周陽小学校・周陽中学校の教職員と学校運営協議会委員 110 名が参加しました。内容は次の通りです。

1 今後の合同学校運営協議会について

周陽中学校の久木田校長より、周陽中学校区小中の学校運営協議会と小中連携における、今後の組織のあり方や方向性について提案・説明がありました。

2 教職員による熟議（学校運営協議会委員はアドバイザー）

小中の課題を明確にし、その上で地域と連携できるよう、今年度は、教職員によるワークショップを行いました。内容は、全国学力・学習状況調査「児童・生徒質問紙」の結果等を参考にし、中学校区としての課題や解決に向けた動き・手立てについてです。

<A 連携推進プロジェクトチーム>

- ・子ども教員もつながる。学校間の敷居を低くし、気軽に行き来ができるようにする。
- ・中学生が得意なことを小学生に教える機会を作る。

<B 学力向上プロジェクトチーム>

- ・自学定着率 100 パーセントを目指す。
- ・自学ノートの小中の共通化。
- ・自学目標時間の達成率 70 パーセントを目指す。

<C 心と体向上プロジェクトチーム>

- ・食事・睡眠・ゲームの様子等を調べる。
- ・メディアとの関わりへの注意喚起。生活アンケートと関わらせる。
- ・小中共通の学習・生活・話し方のきまり作成。

等、様々な意見が出ました。今後、これらの意見をまとめ・精選していきます。



地域の皆様、ありがとうございました

8月20日、親子ふれあい奉仕作業を行いました。草刈りや剪定作業のボランティアに多くの地域の方が参加してくださいました。おかげで、きれいな環境で、生徒たちは2学期をむかえることができました。大変ありがとうございました。



2学期と同時に、運動会練習も始まり、学校に活気が戻ってきました。長い夏休みの間、生徒たちは学校を離れ地域の皆さんに見守られてきました。おかげで、全員が、無事、2学期をむかえることができました。そんな中、地域ボランティアで活躍した生徒もいます。その様子をご紹介します。

夏祭りボランティア

7月23日に桜木地区夏祭り、7月29日に周陽地区夏祭りが行われ、周陽中学校からは、41名の生徒がボランティアに参加しました。生徒たちは、日中のテント張り等の会場設営に始まり、お祭りの司会、露天販売のお手伝いと積極的に取り組んでいました。地域のみなさんに喜んでもらえて、大変やりがいを感じたようです。周陽夏祭りでは、有志4人が、小学生と一緒に「周陽太鼓」を披露しました。毎週土曜日や日曜日に練習してきた力強い音が響き渡りました。



小学校サマースクールボランティア

中学生が出身小学校の児童たちの学習支援に参加しました。〇つけをしたり後輩たちに勉強を教えたりする姿は頼もしく感じます。児童たちの「分かった」という声に喜びを感じていました。毎回、小学校の先生方や児童から、大変好評だという声が届いています。



これからも、様々な場面で、中学生が地域で活躍したり地域を支えたりして、笑顔と活気をもたらせるとよいと思います。次は、「敬老会」で、地域の方々とおふれあえるのを楽しみにしています。

